

シロアマダイの成熟調査を実施しました。

○山口県では平成29年度から国の委託事業により、シロアマダイの種苗生産技術開発の研究を行っています。

○令和元年度には（公社）山口県栽培漁業公社と共同で種苗生産試験を行い、全国で初めて全長40mmの種苗約8万尾の生産に成功し、令和2年度も約4万尾の生産に成功しました。



シロアマダイ稚魚（全長35mm）

○また、受精卵を安定確保する手法の確立を目指し、採卵技術の確保と人工種苗からの親魚養成技術の開発を行っています。

○この度、シロアマダイの種苗生産を行う前段として、県内で漁獲されたシロアマダイの成熟状況を確認しました。

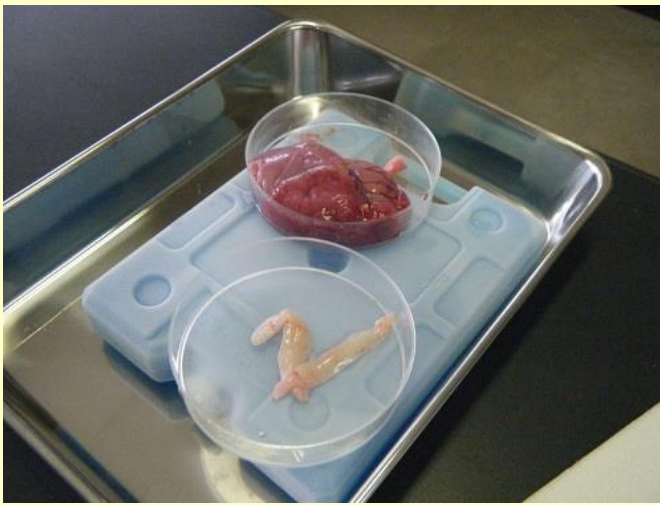


シロアマダイの体長等を測定



生殖巣の摘出

○本来であれば、市場経由で京都や東京の超高級料亭に行くりっぱなシロアマダイに研究員も手が震えます。



卵巣（上）と精巣（下）



精子の活力を確認する研究員

○今回の調査で、本県海域のシロアマダイは時期的に種苗生産が可能である成熟状況と判断しました。

○今後、活魚を入手し、本格的な試験に入ります。

○アマダイ類は、生息水深が深いことから、産卵可能でかつ生きた状態で入手することが極めて困難ですが、本県にとって非常に重要な魚種であるアマダイ類の資源を安定確保するために、引き続き、当該試験研究を実施していきます。

（企画情報室）